

2003. 5. 28
東京大学広報委員会

東京大学男女共同参画基本計画（案）の骨子に関する 意見交換会開催



(2 ページに関連記事)

目次

一般ニュース	2	る	
評議会（5月13日（火））承認事項・報告事項、東京大学男女共同参画基本計画（案）の骨子に関する意見交換会が開催されました、基礎科学研究の推進に関する提言文部科学大臣に提出、小柴昌俊名誉教授、勲一等旭日大綬章受章記者会見行われる、大学院学生学術研究奨励金の採択決まる		キャンパスニュース	6
部局ニュース	5	附属中等教育学校軟式野球部都大会優勝	
生産技術研究所・海洋工学水槽の完成披露会を開催、分子細胞生物学研究所設立50周年記念シンポジウム及び記念式典開催され		掲示板	7
		平成15年度東京大学学術研究奨励賞資金による国際交流助成事業募集について、ボランティアを募集しています、比較文学・比較文化フォーラムシンポジウム「知の共有財産・展覧会カタログの現在 - 制作から批評まで」、駒場リサーチキャンパス（駒場）一般公開、第8回東京大学史料編纂所史料学セミナー	
		訃報（仁木榮次名誉教授）.....	11
		淡青評論「法科大学院」.....	12

基礎科学研究の推進に関する提言文部科学大臣に提出

基礎科学研究に関連の深い本学の理学系研究科、及び地震研究所、宇宙線研究所、物性研究所、海洋研究所の4研究所の代表者が呼びかけを行い、「国立大学等における基礎科学研究の推進について」と題した提言をまとめ、5月2日（金）文部科学大臣に提出した。提言には、全国の大学の研究科長、附置研究所長、研究センター長、大学共同利用機関長等計51人が賛同している。

提言において我々は、国会で国立大学法人法案が審議中であることを踏まえ、我が国の国立大学等における基礎科学研究を一層推進させるために、學術政策に関わる新たな組織の必要性和、大学等を横断する共同研究の重要性の二点を訴えた。

前者では、行政的センスがあり研究者としての経験を持つ者が中心となった、學術政策の企画・立案や研究助成を行うための組織の必要性を訴え、多くの先進国ではこのような「研究行政官」の組織が確立し、立法府や行政に対して責任を持って、長期の學術政策を企画し、研究費の配分を行っていることを指摘した。

後者では、法人法案が大学間の「競争」を強調するあまり、基礎科学研究に不可欠な、組織を越えて「共同」して研究を進めるメカニズムの検討が十分になされていないことへの危惧を表明し、大学間や大学と大学共同利用機関を横断する共同研究についても正しく評価すること、また、このような共同研究に関しても確実な財源措置が必要であることを訴えた。

この提言で述べられているのは一般的な方向性であり、學術推進体制の変革期にあたり今後早急に具体的な提案を行っていく必要がある。また、この提言に盛り込んだ二項目以外にも検討すべき重要な課題もあると思われる。現在、大学の学部・研究科と大学附置研究所・研究センター、大学共同利用機関等関連する幅広い機関から、具体的な提案をまとめるための母体を作る準備を進めている。

大学院理学系研究科長	岡村定矩
地震研究所長	山下輝夫
宇宙線研究所長	吉村太彦
物性研究所長	上田和夫
海洋研究所長	小池勲夫



5月2日（金）安田講堂にておこなわれた記者会見の様子

小柴昌俊名誉教授、勲一等旭日大綬章受章記者会見行われる

去る4月29日（火）政府発表の春の叙勲で、小柴昌俊名誉教授が勲一等旭日大綬章を受章されることが決まったが、これに先立ち、複数の報道機関からの取材申込みに応え、4月25日（金）大講堂（安田講堂）4階会議室において、叙勲についての記者会見を開いた。当日は13社にのぼる報道機関の取材を受け、会見の中では、受章の感想として「勲章をいただいたのもうれしいが、また、（天皇皇后）両陛下にお会いできるのがうれしい」と語り、連日の取材や講演依頼をこなす日々「猿回しの猿みたいに動かされてくたびれる」としながらも「適当にさぼっているから」と笑顔で語った。また、小柴名誉教授は、基礎科学分野を応援するため「平成基礎科学財団」を設立する構想をこの席で明らかにした。



笑顔で質問に応じる小柴名誉教授



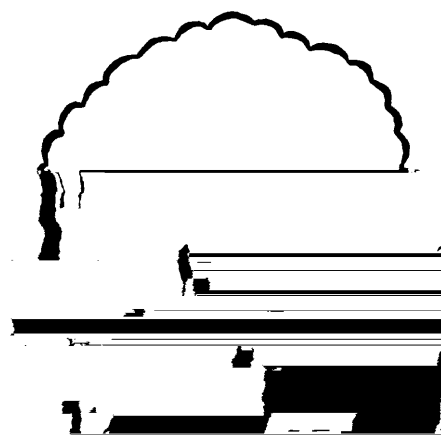
記者会見の様子

大学院学生学術研究奨励金の採択決まる

本学大学院学生の国外での研究活動に必要な助成を図るため「東京大学大学院学生学術研究奨励金」が昭和58年度から設けられているが、このほど学術研究奨励資金実施委員会において、平成15年度前期（6～11月）応募者の審査が行われ、58件の実施計画が採択された。応募者は160名であった。なお、研究科別採択状況は以下のとおりである。

研究科名	応募者数	採用者数	主な渡航先
法学政治学研究科	1	1	フランス
医学系研究科	21	7	アメリカ、フランス、イタリア、中国
工学系研究科	10	7	ドイツ、アメリカ、フランス、スウェーデン、スイス、スペイン
人文社会系研究科	2	2	ドイツ、モンゴル
理学系研究科	16	6	フランス、チェコ、アメリカ、オーストリア、南アフリカ共和国、ドイツ
農学生命科学研究科	40	9	ザンビア、タンザニア、トルコ、ドイツ、イギリス、スペイン、アメリカ
経済学研究科	2	2	スペイン、アメリカ
総合文化研究科	24	7	アメリカ、シンガポール、ペルー、ロシア、スペイン、イタリア
教育学研究科	3	2	ニュージーランド、中国
薬学系研究科	6	3	アメリカ、中国
数理科学研究科	1	1	スウェーデン
新領域創成科学研究科	25	7	トルコ、韓国、イタリア、アメリカ、中国
情報理工学系研究科	9	4	フィンランド、アメリカ、カナダ

（研究協力部国際交流課）



生産技術研究所・海洋工学水槽の完成披露会を開催

生産技術研究所千葉実験所内に、海洋空間利用、海洋環境計測、海中・海底の天然資源採取等に係わる技術の開発を目的とした、「海洋工学水槽」が新設された。水槽の基本寸法は、長さ50m、幅10m、深さ5.5mであり、水槽棟（長さ72m、幅17m、高さ10m）に水槽本体と計

附属中等教育学校軟式野球部都大会優勝

4月から行われていた平成15年度東京都高等学校軟式野球春季大会で附属学校後期課程野球部が、5月3日(土)の決勝戦で早稲田実業を9 - 1で破り、20年ぶり5度目の優勝を飾った。その結果、参加79校の代表として5月30日(金)から茨城県水戸市で行われる関東大会に出場することになる。

ここ数年実力をつけ、平成12年春、平成13年秋と関東大会に出場はしていたが、都大会準優勝チームとしての出場であり、優勝が悲願となっていた。

強豪校を自ら打ち破っての栄冠は高く評価され、関東大会での活躍が楽しみである。

(大会結果)

<支部大会>

1回戦 城北高校 13 - 0

猛打爆発7回コールド勝ち。

2回戦 駒場東邦 3 - 1

1点のビハインドをすぐにホームランで追いつき、逆転勝ち。

3回戦 小石川工業 4 - 0

1回表に先制攻撃で一挙4点をあげ、勝利。

日大三高

芝高校

東大附属

江北高校

創価高校

城西高校

志村高校

南葛飾高校

法政一高

小石川高校

国土館高校

豊島高校

帝京高校

竹早高校

昭和一高

早稲田実業 賑襲 俣玄前 恋菜 巴猪 縁録 因驛

≡ 掲示板 ≡

平成15年度東京大学学術研究奨励資金による
国際交流助成事業募集について

下記要項のとおり募集しますので、平成15年7月25日（金）までに所属部局を通じ、研究協力部国際交流課国際学術掛まで提出願います。

なお、申請手続き等詳細につきましては、各部局担当掛へお問い合わせください。

各事業の申請書類は下記のURLにてダウンロードできます。

<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/kenkyou/kokusai/gaku-kin.html>

1. 国際交流推進経費助成事業（後期分）
2. 若手研究者派遣経費助成事業（後期分）

平成15年度 学術研究奨励資金による
国際交流推進経費 募集要項

1. 趣 旨

本学と海外の学術研究機関が行う大学間・部局間の
楚蠶圍撞る鋅甲 黽Å獅ッ銻瓦芝蒙ら片兒撞狂狻 銓だ法"齡蘭榭參者 蕪女翻罽~

した上で提出のこと。

問い合わせ先

6. 選考及び採否の通知

03-3815-5411 (代表)

選考は、学術研究奨励資金実施委員会が行い、採否の決定は平成15年9月下旬までに、所属部局長あて通知する。

担当者 橋本コーディネータ 内線 32465
FAX 03-5800-8770

7. 報告書の提出

別紙様式2により、交流計画の終了後、速やかに所属部局長から総長あて提出すること。

8. 申請書等の送付先

研究協力部国際交流課

(研究協力部国際交流課)

ボランティアを募集しています！！

医学部附属病院には、「東大病院にここボランティア」という組織があります。今年7月に満9歳を迎えます。

ボランティアは、職業をお持ちの方、主婦、学生、ボランティア活動に興味のある方などがスカイブルーのエプロンをつけてご自分の日頃の都合に合わせてながら活動を続けています。

(医学部附属病院医療サービス課)

患者さんにとって心休まる暖かいところにするため、あなたのやさしさを生かしてみませんか？

スタッフ一同、あなたのご参加をお待ちしています。

ボランティア

活動の場所

医学部附属病院
本郷キャンパス内
文京区本郷7-3-1

活動の内容

院内ガイド(患者さんのご案内、受付のお手伝い)、車椅子の介助、院内学級の送迎、図書の貸出、子どもの遊び相手、病院の催し物(七夕やクリスマスコンサート)のお手伝いなど

活動時間

月～金 8:30～11:30
9:30～12:30
12:00～15:00

これらの時間帯のなかで、あなたのご都合に合わせてお選びいただけます。
(1回3時間・月に2回以上)

募集期間 第1回目 7月1日(火)～7月11日(金)

第2回目 9月1日(月)～9月12日(金)

ボランティア活動は無報酬でお願いしています。

比較文学・比較文化フォーラム
シンポジウム「知の共有財産・展覧会カタログ
の現在 制作から批評まで」

日時：平成15年7月5日（土）12：30～18：30

場所：駒場キャンパス・大学院数理科学研究科大講堂

主催：大学院総合文化研究科超域文化科学専攻・比較文学比較文化研究室

共催：東京大学美術博物館、日仏美術学会

一般来聴歓迎（無料）

日本の展覧会カタログの多くは、欧米と異なり、書店で買える「書籍」ではなく、展覧会場で直接買うものである。そのためにしばしば入手は困難、図書館での検索や閲覧も容易ではなかった。

ところが、カタログには驚くほど美しく、面白い「本」が多々存在する。しかもそれがまた展覧会の企画の斬新さ、学術的深さを兼ね備えたものであることも、珍しくないのである。

「書籍」ではないため、新聞などの書評欄でも取り上げられることの少ない展覧会カタログの、今日の状況を知り、制作から保存、収集、そして実りある批評の可能性まで、徹底的に語り合いたい。

『展覧会カタログの愉しみ』（今橋映子編著、東京大学出版会）の成果を受け、学術的に発展させるシンポジウム。

内容：

第1部 制作から収集まで

三浦 篤「フランスにおける展覧会カタログ
マネ展をモデル・ケースに」

本江 邦夫「展覧会カタログのあるべき姿について」

波多野宏之「美術館の記憶 と展覧会カタログ
ドキュメンテーションの視点から」

寺口 淳治「カタログの制作
「田中恭吉展」でとった手法」

第2部 カタログ批評の可能性

今橋 映子「カタログ批評の可能性
1920年代パリを語るということ」

三浦 俊彦「展覧会サプリメントとしてのカタログ」

中村 和恵「ジョン・マンディーンを探して
現代アポリジナル・アートにおける聖と俗の「知的所有権」」

問い合わせ先：

比較文学比較文化研究室

tel：03-5454-6330

e-mail：hikaku@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp

http://fusehime.c.u-tokyo.ac.jp

（大学院総合文化研究科・教養学部）

駒場リサーチキャンパス（駒場Ⅱ）一般公開

駒場リサーチキャンパス（駒場Ⅱ）では、下記のとおり7つの研究所・センターにおいて、2日間にわたり13の講演を含めた研究室の一般公開を行います。

皆さん 仁 予 済 済 爆 女 訖 介 邀 員 合 阿 五 区 贊 呈 呈 琰 漆

- 「国際・産学共同研究センターの紹介」
- 10:15~10:50 相澤 龍彦 (CCR)
- 「CCRにおける産学連携活動の展望」
- 10:50~11:25 田中 敏久 (CCR)
- 「ITSの事業化に向けた産学連携の新展開」
- 11:25~12:00 林 誠一郎 (CCR)
- 「情報セキュリティの今」

[講演会]

- ・生産技術研究所第1会議室 (Dw-601)

6月5日(木)

- 13:00~13:50 木下 健 (IIS)
- 「水遊び(ヨットとボート)の力学と浮体力学」

6月6日(金)

- 10:20~11:10 寒川 旭 (IIS)
- 「地震考古学 - 遺跡で調べる地震の歴史 - 」
- 11:20~12:10 橘 秀樹 (IIS)
- 「コンサートホールの形と音」
- 13:00~13:50 荒川 泰彦 (IIS)
- 「ユビキタス情報化社会の実現に向けたナノテクノロジーの展望」

- ・先端科学技術研究センター4号館2階講堂

6月5日(木)

- 14:00~14:50 宮野 健次郎 (RCAST)
- 「酸化物エレクトロニクス - 動かない電子を働かせる法 - 」
- 15:00~15:50 後藤 晃 (AEE)
- 「技術革新と特許制度」
- 16:00~16:50 瀧間 一 (RACB) 熊倉 切骨 数聖 磨空 弊箱 寛温 露崎 生 櫻 儕 濤 磁 缶 編 首 謹 一 櫻 櫻 芳 蒙 瓦 露 言 應 崎

名誉教授仁木榮次先生は、平成

